

リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

世田谷区立中丸小学校

【GIGA×指導の工夫・改善】 総合的な学習の時間における児童主体の学習環境の在り方

＜総合的な学習の時間＞

5年生では、SDGsの学習を通して「世界のみんなを笑顔に 中丸ラーメンプロジェクト」として、児童主体の学習環境をつくり、学習を進めた。

1学期には児童がSDGsの中で何に興味があるかを選択し、同じテーマに興味ある児童同士がグループになり、調べたことをまとめて※1発表※2して、SDGsに対する知見を広めた。

2学期は、その学んだことを生かして、焦点をしぼり、「貧困をなくそう」、「飢餓をゼロに」に注目して、自分たちで解決できることがないか相談した。そこで、中丸小学校に昔からある人気メニューの中丸ラーメン※3をカップラーメンにして他の国の子どもたちに送ってあげたらどうかという意見が出た。自主学習の中で味は落ちるけど、お湯ではなく水でも食べられるなどの考えが生まれ、児童同士で合意形成を図りながら学習を進めた。グループに分かれ、レシピグループ、メディア※4グループ、近くの農園の人たちに協力※4を得るグループ、宣伝※5するグループ、ユニセフに社会科見学を提案するグループなどに分かれて活動した。

3学期には、子どもが進めていることを実践していく。売り上げたお金を全額恵まれない国に寄付することで、少しでもSDGsを自分事として考える学習である。

＜児童主体な学習環境にするためのポイント（考察）＞

- ※1 グループごとに共有機能を使って、進み具合などの共有をすることで見通しをもって学習に取り組むことができるようにした。
- ※2 発表について自由に選択できるようにした。（アプリ選択の自由）、（動画、スライド等発表形式の自由）
- ※3 児童の考えを基に生成AIを活用して中丸ラーメンを具体化した。
- ※4 児童による直接交渉をする機会を創出した。（メール文作成や電話によるアポイントメント）
- ※5 国語の学習「固有種が教えてくれたこと」資料を用いた文章の効果を考え、それを生かした加工から宣伝用のチラシを作成させて、QRコード化した。



中丸小学校で作っているラーメンをカップラーメンにし、...